

P8 イスラーム地域研究—新たな「知見」の獲得

イスラーム研究センター

イスラーム研究センター

NIHU プログラム・イスラーム地域研究

(第一期 2006-2010)

- ・ネットワーク型共同研究、拠点形成
- ・共同利用・共同研究拠点認定(2008~)
- ・文部科学省委託 拠点強化事業(2008-2013)

研究の目的と背景

- ・アジア文化研究所が培ってきた地域研究の方法と成果を、イスラーム研究の場に転移、発展
- ・イスラーム政治運動の背景にある**社会的・文化的側面**に注目
- ・**民衆性**に着目したイスラーム研究
- ・グローバルな**研究者ネットワーク**の創出
- ・**若手研究者の養成**



三つの研究グループ

- ①グループ1 「イスラーム主義と社会運動・民衆運動」(代表:私市正年)
- ②グループ2 「東南アジア・イスラームの展開」(代表:川島緑)
- ③グループ3 「スーフィズムと民衆イスラーム」(代表:赤堀雅幸)

これまでの研究成果

- ・1990年代後半以降のイスラーム社会を「**ポスト・イスラーム主義**」の時代として理解する新しい分析枠組みの提示
- ・東南アジア・イスラーム書(**キターブ**)を広範に収集・分析し、東南アジア・ムスリムの国境を越えたネットワークを実証
- ・地域ごとの文化や伝統を内包した**多元的、複合領域的イスラーム**の実態を解明



研究代表者:私市正年(イスラーム研究センター長/外国語学部アジア文化副専攻教授/アジア文化研究所所員)

共同研究者:川島緑、赤堀雅幸(以上、外国語学部アジア文化副専攻教授/アジア文化研究所所員)、高橋圭(アジア文化研究所客員研究所員)